



本事業は、SDGsの「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 4 月 11 日（金）

愛知県政策企画局国際課

国際戦略グループ

担当 野村、富田

内線 2448、2198

ダイヤルイン 052-954-6130

愛知県経済産業局海外連携推進課

海外連携グループ

担当 中野、林、片寄

内線 5189、5181

ダイヤルイン 052-954-7474

知事の米国渡航中の行事結果について

2025 年 4 月 9 日（水）午後、知事は米国ワシントンDCにおいて、^{やまだしげお}山田重夫駐米日本国大使、ケンタッキー州選出のハル・ロジャース下院議員と面談しました。

翌 10 日（木）午前、知事は米国テキサス州オースティンにて、オースティンにおけるスタートアップ・エコシステムの中核であるテキサス大学オースティン校を訪問し、ソニア・ファイゲンバウム副学長と面談しました。次に、テキサス州知事公邸を訪問し、グレッグ・アボット テキサス州知事と面談しました。その後、世界最大級の複合イベント「サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）」の主催団体であるサウス・バイ・サウスウエスト社のヒュー・フォレスト社長と面談しました。

1 山田 重夫 駐米日本国大使との面談

（担当課：国際課）

（1）日時

2025 年 4 月 9 日（水）正午から午後 1 時 30 分まで

（日本時間 4 月 10 日（木）午前 1 時から午前 2 時 30 分まで）

（2）場所

駐米日本国大使公邸

（3）面談者

山田 重夫 駐米日本国大使

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、駐米日本国大使公邸を訪問し、山田大使と面談しました。

大村知事は、「今回は、ワシントンDCで多くの連邦議員等と面談し、トヨタ自動車を始めとした愛知県企業及び日本企業の米国経済に対する投資状況を説明した上で、関税措置について、日米の良好な経済関係に大きな影響が出る恐れがあることを伝え、より良い解決策が見出せるよう、各議員に支援を求めた。」と話しました。

さらに、大村知事は、ワシントンDC訪問後のテキサス州訪問について説明するとともに、昨年10月にオープンした日本国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」、昨年3月にフルオープンしたジブリパーク、今年3月に完成したIGアリーナ、今年9月に開催予定の国際芸術祭「あいち2025」についても紹介しました。

山田大使からは、米国政府の動向を中心に現地情勢について説明がありました。



山田大使との面談の様子



大使公邸エントランスで山田大使と記念撮影

2 ハル・ロジャース下院議員との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2025年4月9日(水) 午後2時30分から午後3時まで

(日本時間4月10日(木) 午前3時30分から午前4時まで)

(2) 場所

下院議員会館

(3) 面談者

ハル・ロジャース下院議員(ケンタッキー州選出)

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、ケンタッキー州選出のロジャース下院議員と2017年10月以来となる2回目の面談を行いました。

大村知事は、「トヨタ自動車は1988年から37年間にわたりケンタッキー州でビジネスをしてきており、ロジャース下院議員に改めて感謝申し上げます。トヨタ自動車のケンタッキー工場は年間約60万台の生産能力を持つ世界で最も大きな同社の工場である。」と話しました。また、「ケンタッキー州内でトヨタ自動車を始めとする愛知県の企業は約5万人の雇用を生み出し、州経済に大きく貢献している。ロジャース下院議員には引き続きご支援をいただきたい。」と話しました。

また、大村知事は「アメリカ政府による自動車及び自動車部品への25%の追加関税により自動車産業が集積している愛知県や日米の良好な経済関係に大きな影響が出る

恐れがあると懸念している。これから日米両政府の協議が始まるが、より良い解決策が見出せるよう私も日本政府に働きかけをするので、ロジャース下院議員にもご支援をお願いしたい。」と話しました。

これに対して、ロジャース下院議員は、「今回の関税措置が発表された時は、私たちにとってだけでなく世界にとってサプライズであった。今後の協議がまさに開始されるところであり、この協議によって状況が変化する可能性があり、アメリカ政府も関税プログラムを変更するかもしれない。」と話しました。さらに、「トヨタ自動車のような企業が州内にあることはとても恵まれており、そこに勤める方たちは素晴らしい市民であり、企業としても慈善活動に熱心である。労働環境も良く、州経済の強化にも貢献してくれている。私は日本の皆様のためにできることをしていきたいと考えており、大村知事と相互に協力することにより、愛知県及びケンタッキー州がさらに成長し、繁栄することを願っている。」と話しました。

このほか、大村知事は、昨年5月にケンタッキー州を訪問した際にアンディ・ベシア知事から同州に大きく貢献した人物に授与される「ケンタッキー・カーネル」の称号を授与されたことを報告するとともに、「これからもケンタッキー州と経済交流、人材交流などで関係をさらに深めていきたい。」と話し、これに対して、ロジャース下院議員は、「またお手伝いすることがあれば、いつでも言ってほしい。」と応じていただきました。



ロジャース下院議員との面談の様子



ロジャース下院議員との記念撮影

3 テキサス大学オースティン校ソニア・ファイゲンバウム副学長との面談

(担当課：海外連携推進課)

(1) 日時

2025年4月10日(木) 午前9時15分から午前9時55分まで

(日本時間4月10日(木) 午後11時15分から午後11時55分まで)

(2) 場所

テキサス大学オースティン校(オースティン市)

(3) 面談者

ソニア・ファイゲンバウム副学長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、テキサス州の州都オースティンのスタートアップ・エコシステム形成において大きな役割を担ってきたテキサス大学オースティン校を訪問し、ファイゲンバウム副学長と5回目となる面談を行いました。冒頭、大村知事から、2024年10月31日に開催した、日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」のオープンセレモニーに出席いただいたことへの感謝を述べました。

また、「2018年以降、本県とテキサス大学オースティン校が連携して実施してきた、県内スタートアップの北米展開支援や、テキサス州への起業家派遣事業について、引き続きご協力をお願いしたい。」と話しました。

さらに、「2024年10月の面談時に、テキサス大学オースティン校のスタートアップ支援担当者がSTATION Aiに滞在し、入居スタートアップに対し、知見を共有する「オフィスアワー」を実施することについて、ご提案いただいた。その内容を、来年開催予定の世界中のスタートアップや投資家などが一堂に会するグローバルイベント『TechGALA Japan』のタイミングに合わせて実施していただくとともに、『TechGALA Japan』のセッションに貴学からご登壇いただくことを提案したい。」と述べました。

ファイゲンバウム副学長からは、「愛知県とテキサス大学オースティン校の連携は、年々強化されていることをうれしく思う。去年のSTATION Aiのオープンセレモニーにも参加できたことを誇りに感じている。大村知事のリーダーシップ、先見性のあるビジョンによるプログラムに協力できると思う。」との発言がありました。

また、「大村知事からご提案いただいたとおり、愛知県スタートアップの北米展開支援や、テキサス州への起業家派遣プログラムを継続するとともに、本校のスタートアップ支援担当者による、STATION Aiでの「オフィスアワー」や、招へいいただいた『TechGALA Japan』への登壇をぜひ実現したい。また、スタートアップを支援するうえで、テキサス大学オースティン校だけではなく、テキサス州全体のエコシステムのリソースにも目を向けていただきたい。テキサス大学オースティン校は、幅広いネットワークのセンターとなっており、本校のエコシステムを通じて、テキサス州だけでなく世界中にコネクションを拡げることができる。今後、愛知県とのプログラムを継続するだけでなく、ぜひ拡大を目指していきたい。」との発言がありました。

これを受けて、大村知事は、「愛知県とテキサス大学オースティン校とのプログラムの拡大を通じて、両者の関係をさらに強化していきたい。」と述べ、連携を一層強化していくことに合意しました。



ファイゲンバウム副学長との面談の様子



ファイゲンバウム副学長との記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(前列左から2人目がファイゲンバウム副学長)

4 グレッグ・アボット テキサス州知事との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2025 年 4 月 10 日 (木) 午前 10 時 30 分から午前 11 時 5 分まで
(日本時間 4 月 11 日 (金) 午前 0 時 30 分から午前 1 時 5 分まで)

(2) 場所

テキサス州知事公邸 (オースティン市)

(3) 面談者

グレッグ・アボット テキサス州知事

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

長沼善太郎在ヒューストン日本国総領事

(5) 内容

大村知事は、アボット知事に、「昨年 7 月に東京でお会いして以来の 6 回目の面談をうれしく思う。2016 年 4 月に『友好交流及び相互協力に関する覚書 (MOU)』を締結し、9 年に渡り着実に交流を重ねてきたが、昨年 7 月にはこれまでの MOU をアップデートして、新たに相互協力声明 (SMC) に署名し、さらに両県州の連携を強化していくことを確認した。」と話し、これまでの交流事業として、2019 年からテキサス大学オースティン校と実施しているグローバルに活躍するスタートアップの創出・育成を図るプログラムの他、先月開催された「SXSW (サウス・バイ・サウスウエスト) 2025」における愛知県のスタートアップ 3 社への出展支援や愛知県高校生のテキサス州への派遣事業を紹介しました。

また、大村知事は、「MDアンダーソンがんセンターとは、2023年5月のピーター・ピスターズ プレジデントとの面談を契機として、共同研究や人材交流などの連携を進めている。世界に発信できる医療・研究を推進するため、本県がんセンターとのパートナーシップを強化していきたいと考えている。」と話しました。

また、大村知事は、「テキサス州にはトヨタ自動車を始めとする31社の愛知県企業が進出し、地域の雇用創出に貢献している。」と話すとともに、「トヨタ自動車は昨年6月、サンアントニオ工場に5億3,100万ドルを投資して、部品工場を建設することを発表した。同工場への投資額は累計47億ドル以上に達し、新たに400人の雇用が見込まれる。」と説明しました。さらに、大村知事は、「24%の相互関税及び自動車と自動車部品の輸入に対する25%の追加関税については、日米の経済関係に大きな影響を及ぼす恐れがある。」と話しました。

これに対してアボット知事から、「大村知事からお話のあったテキサス州政府による引き続きのサポートについては、もちろん安心してもらいたい。テキサス州は愛知県企業のビジネスと関係を持てることをうれしく思う。」と発言するとともに、「我々にとって愛知県の企業は、国際的な貿易パートナーの重要な相手方の一つである。現状、テキサス州内をみると貿易が活発に行われ、多くの事業が展開されているが、これを現状維持するのではなく、これからも貿易を拡大・成長させることに意義がある。」と発言し、愛知県の企業に対する支援を表明しました。

さらにアボット知事は、「愛知県を始め日本の企業が活発に米国で投資を行っているが、これはアメリカ政府にとっても重要な意味を持っている。私は、アメリカにとって自由貿易が極めて重要であると考えている。そして、アメリカ政府は公平な貿易を求めていると考えている。テキサス州知事として、大村知事が行っている全ての取組に感謝したい。私はあなたのことを友人と思っており、これからもぜひ協力していきたい。」との発言がありました。

アボット知事の発言を受けて大村知事は、「アボット知事から大変友情あふれる発言をいただいたことをうれしく思う。これからも愛知県とテキサス州、日本とアメリカの良好な経済関係をさらに発展させていきたい。」と発言しました。

さらに大村知事は、「今回の訪問で、ワシントンDCにおいて上下院の連邦議員と日米の経済関係に関して意見交換を行った。今後、関税措置に関する日米の政府間協議が始まるが、十分協議が行われ、より良い解決策が見つけられることを望んでいる。共和党のリーダーであるアボット知事からも大統領やホワイトハウスに対し、日米が良好な経済関係を構築し、ひいては日米同盟がさらに発展するようアドバイスをお願いしたい。」と発言しました。

これに対して、アボット知事から「トランプ政権と緊密な繋がりを持つ連邦議員に働きかけを行う大村知事の戦略は適切である。現在のアメリカ政府の目標の一つとして、アメリカに製造業を取り戻すことが挙げられる。愛知県を始め日本の企業が取り組んでいるプロジェクトはトランプ大統領が求めているものに合致する。」と大村知事

の取組に賛同するとともに、「関税措置で公平な貿易をアメリカ政府が求めていると思う。アメリカ政府は今後、他国との間で交渉を行うものと理解しているが、重要なのは自由貿易であり、実りのある協議になると希望的に考えている。」と発言しました。

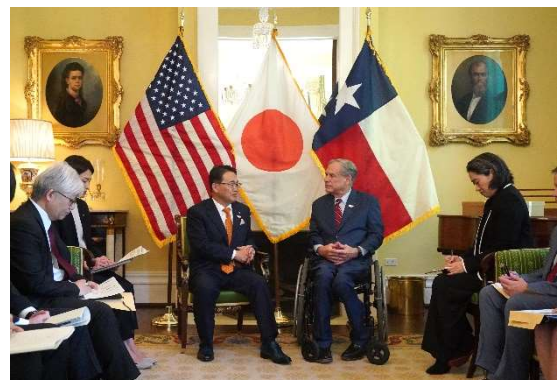
大村知事は、「アボット知事の発言を大変心強く思っている。自由貿易が大事であるとの考えは全く同感である。愛知県とテキサス州との関係と同じように、日本とアメリカの経済関係をさらに発展させる必要がある。また、日米同盟はアジア太平洋始め世界の平和と安定のため絶対に必要なものだと考えており、これを発展させるため、我々は努力しなければならない。愛知県とテキサス州の連携を強化し、これからもwin-win の関係を築いていきたい。そのためにもアボット知事にはリーダーシップを発揮していただくとともに、引き続きのサポートをお願いしたい。」と発言しました。

これに対してアボット知事は、「我々が日本・愛知県との間で保っている友好関係、そしてビジネス、経済の絆をより強化するため引き続き努力していきたい。テキサス州と愛知県、日本との間で行われている活動を見ていると、これからもポジティブな関係が続けられると思う。」と応じました。

最後に、大村知事とアボット知事との間で再会を約束し、面談を締め括りました。



アボット知事との面談の様子①



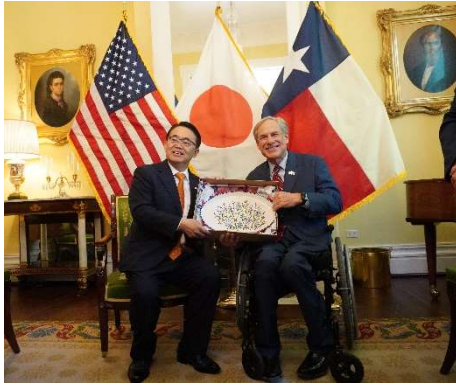
アボット知事との面談の様子②



アボット知事との記念撮影



出席者の皆さんとの記念撮影
(前列左から2人目がアボット知事、後列左から1人目が長沼在ヒューストン日本国総領事)



アボット知事と記念品交換①



アボット知事と記念品交換②

5 SXSWS（サウス・バイ・サウスウエスト）社ヒュー・フォレスト社長との面談

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2025 年 4 月 10 日（木）午前 11 時 25 分から午前 11 時 55 分まで

（日本時間 4 月 11 日（金）午前 1 時 25 分から午前 1 時 55 分まで）

（2）場所

SXSWS Center（オースティン市）

（3）面談者

ヒュー・フォレスト SXSWS 社社長

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、テキサス州の州都オースティンで毎年 3 月に開催される世界最大級の複合イベント「SXSWS」の主催団体である SXSWS 社のフォレスト社長と 3 回目となる面談を行い、冒頭、2024 年 10 月 31 日の STATION Ai のオープンセレモニーにおいて、フォレスト社長からビデオメッセージをいただいたことへの感謝を述べるとともに、SXSWS 2025 の成功へのお祝いの言葉を伝えました。

また、「2019 年から 2024 年まで、4 回にわたり SXSWS に愛知県の学生チームを派遣してきた。そして、2025 年 3 月に開催された SXSWS 2025 では、新たに県内スタートアップ 3 社の出展を支援するとともに、本県職員も渡航して参加した。2026 年に開催される SXSWS 2026 においても、同様に県内スタートアップの出展を支援する予定であり、引き続き SXSWS 社からの支援をお願いしたい。」と話しました。

さらに、「2025 年 2 月にグローバルイベント『TechGALA Japan』を初めて開催した。100 以上のセッション、800 件以上の商談などを実施し、国内外から 5,000 名を超える方にご参加いただいた。将来的には、この『TechGALA Japan』を SXSWS のように、世界中から注目される国際的な一大イベントに育て上げていきたい。ぜひ、来年開催予定の『TechGALA Japan 2026』にお越しいただき、基調講演などのセッションに登壇いただきたい。」と提案しました。

これに対してフォレスト社長からは、「第1回の『TechGALA Japan』が成功したことをお祝い申し上げる。次回以降も、さらに大きなイベントになることを願っている。また、来年の『TechGALA Japan 2026』での登壇を提案いただき、感謝申し上げます。ぜひ実現したいと思う。SXSW への愛知、日本からの出展や参加によって、日本からの来場者も増えている。『TechGALA Japan』と SXSW は、国際的な参加者の受入れを通じて連携の架け橋となる共通点がある。この架け橋をさらに強固なものにしていきたい。」との発言がありました。

また、大村知事は、「SXSW がアメリカだけでなく、世界を代表するテックイベントとして、さらに発展することを願っている。我々も、STATION Ai、『TechGALA Japan』と SXSW の皆さんとのネットワークを発展させ、しっかり連携していきたい。」と述べました。

これに対してフォレスト社長からも、「私も同じ思いである。今後も協力を進め、愛知県と SXSW との関係をさらに強固なものにしていきたい。」との発言があり、今後も連携関係を強化していくことに合意しました。

【SXSW 概要】

- 目 的 革新的なテクノロジーや厳選された音楽・映画の発表、投資家との出会いの場の提供
- 内 容 インタラクティブテクノロジー・音楽・映画の大規模複合イベント
- 出展社数 インタラクティブ部門：約 250 社（見本市のみ）
音楽部門：約 1,250 アーティスト
映画部門：約 400 本
- 参加者数 インタラクティブ部門：3 万人以上
音楽部門：3 万人以上
映画部門：1 万 5 千人以上
- その他 毎年 3 月に開催。インタラクティブ部門は、ツイッター社（現 X 社）や
エアビーアンドビー
Airbnb 社が急成長するきっかけとなった。



フォレスト社長との面談の様子



フォレスト社長との記念撮影